



Pachinko Chain Store Association

PCSA 声明

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会（PCSA）は、パチンコが社会や国民の皆様信頼され、親しんでいただける遊技であり続けるために、下記のとおり声明いたします。

記

皆様ご承知の通り、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。

規則改正に基づく2021年1月31日までの「遊技機入替」とそれによる「収益力の悪化」、2020年4月1日に施行される「改正健康増進法の対応」、2019年10月に実施された「消費税増税による負担増」など、パチンコホール企業の経営を圧迫する要因が重なり、その厳しさはパチンコホールのみならずメーカーや周辺機器などこの業界全てに波及しております。

また「レジャー白書」によると、パチンコの遊技人口もピークの3000万人から現在では1000万人を切る状況にまで落ち込んでおります。

PCSAでは、この厳しい状況だからこそ、パチンコが「法令やルールを守る信頼できる業界」なのか否かが社会から問われてくるものと考えております。

「法令やルール」を守ることができない業界となるのであれば、この状況は社会からの信頼を失い、さらに現在の遊技客の信頼も失い、延いては国民からの多くの支持を失う原因のひとつになると考えます。

そこでPCSAでは、設置の認められていない「認定・検定切れ遊技機」および「いわゆるみなし機」の撤去、「改正健康増進法の対応」など、パチンコホールが誠意を持って遵守、対応していくべきだと考えております。

また、メーカーの皆様には2021年1月31日までに遊技機の入替がスムーズに進むよう、お客様からご支持いただける遊技機を、対応可能なスケジュールで、さらにはパチンコホールが購入しやすい安価で提供いただけるよう、一層のご努力をいただきたいと望んでおります。

社会が刻一刻と変化していく中、遊技業界も取り残されぬよう、新しい時代・新しい社会の要請に応える新しい基準に基づいた遊技機の円滑な導入を進めていきましょう。

数十年の長きに亘って国民大衆に娯楽と憩いの場を与え、地域経済の活性化と就業機会の拡大をもたらしてきたパチンコを、国民から支持され、日本の社会になくてはならない存在であり続けるために業界が一丸となって邁進しましょう。

以上

令和元年12月25日

一般社団法人
パチンコ・チェーンストア協会
代表理事 加藤 英則

